

### 【熊本県宇土支部】

#### 二か所での伝達式

宇土支部では元松宇土市長、柴田市議会議員、太田教育長と、津奈木町では山田町長、小島水俣警察署長他、多数の来賓を迎え、受賞者十二名が出席して善行表彰伝達式を開催した。山下支部長は挨拶で善行活動に謝意を述べられ、来賓からは善行運動の推進に努める宇土支部に謝意と受賞者にねぎらいの祝辞があった。宇土会場では熊本震災で被災した庁舎、再建最中の「新たな宇土市の拠点、新庁舎は」と題して市長の講演があった。



### 【東京都葛飾支部】

十二月八日(水)、葛飾区の堀切地区センター会議室において、伝達式を開催しました。

伝達式には青木克徳葛飾区長を来賓としてお招きし、特別善行表彰銀章一名、秋季善行表彰五名の受賞者へ、区長より表彰状を代読で読み上げていただき手渡しました。



### 【沖縄県支部】

十二月二十七日(月)午後二時から、那覇市琉球新報ホールにおいて、支部役員により秋季善行表彰受賞者への表彰状及び善行章の伝達式を執行了いました。



### 【大分県支部】

十二月十六日(木)、大分市東部公民館において、大分市長をはじめ市議会議員、社会福祉協議会会長のご出席のもと、秋季善行表彰伝達式を開催した。

式典では開会の挨拶に始まり、二団体と十名の方の受賞理由を紹介し、表彰状と善行章と会員バッチを贈った。伝達が終わり、松井支部長の祝辞、善行会の歴史の話や大分支部としての活動行事についての説明があった。

ご来賓の皆様からは、長年に渡る社会貢献に対して労いの言葉、そしてこれからの活躍にエールを頂きました。また、令和四年一月二十六日には「令和四年迎春・善行章受賞祝賀会」を予定しています。

### 【四国中央支部】

十二月九日(木) 四国中央市市長室にて、市長、教育長出席のもと十四名、会員三名が参加し、伝達式を開催しました。

市長から受賞者一人ひとりに表彰状が伝達され、祝辞と永年の活動に激励の言葉をもらい、受賞者は緊張する中、さらなる活動を誓い合いました。



## 受賞者の 喜びの声

●令和3年度  
●秋季表彰●

善行表彰を受賞して

東京都江戸川区

池田 幸生



この度、令和3年度の秋季善行表彰をいただきました。

職場の環境改善や後輩等の身上(心情)把握の

ために始めた「声掛け運動」ですが、通勤時の行き帰りや土日にも行い、「人の役に立ちたい」という気持ちで純粹に続けて、気付けば三十年近く行っていたことに自分でも驚いております。

「泣いている子供を抱えた女性」、「駅の階段で立ち止まっている高齢者」、「携帯の地図を見ている外国人」、「視覚障がい者や車椅子の方」などに、私は声を掛けます。

「何か困っていますか?」、「お手伝いしましょうか?」[May I Help you?]

大切なのは「相手の

気持ちになること」と、心から実践出来るようになったのは、実は最近の事です。

また、防災士と衛生管理者の資格を元に、NPO法人で防災活動も盛んに行っております。

ただ、このような素晴らしい「善行会」が、私の地元江戸川区に支部がないと言うのがとても残念で悔しいと思います。今回いただいた賞を励みとして、これからも地域の方や弱者の方々の為に地道に、慢心せず活動を持続して行きたいと思っています。

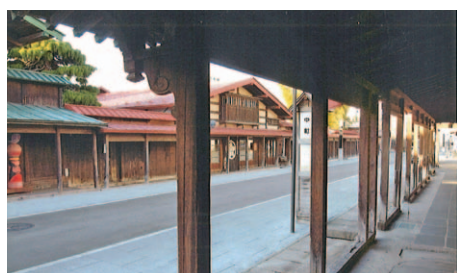
この度は、本当にありがとうございました。

## ふる里自慢

### 青森県弘前支部

水清く 人情のあつい  
あずましの里 黒石

城下町弘前の十二km東に藩政時代には弘前藩の支藩であった黒石がある。当時の面影をとどめる中町「こみせ(雁木の別称)」通りは重要伝統建造物群保存地区であり、「日本の道百選」にも選定されている。町の中ほど「高橋家住宅」(国重文)は宝暦年間(一七五一



中町「こみせ」通り

く六一)に建てられた。八月十五・十六日に行われる「黒石よされ」は日本三大流し踊りの一つに数えられている。また近くには、明治三十五(一九〇二)年完成の津軽独特の大石武学流の庭園を散策できる「金平成園」がある。青森の果物はこのように何といても「りんご」であるが、福民に産業技術センター「りんご研究所」があり、「りんご史料館」の見学ができる。黒石温泉郷の鶴の名湯「温湯温泉」は五百年近くの歴史を誇り、黒石・弘前藩主もたびたび湯治に訪れた。大正ロマン漂う「飯塚旅館」は人気が高い。湯治客を相手に木地挽の盛秀太郎が最初にくつたのが「温湯系こけし」である。この黒石温泉郷は「こけしの里」と

よばれ、落合温泉に日本一のジャンボこけしの他全国のこけし約五千本を展示する「津軽こけし館」が津軽伝承工芸館に隣接してある。「こけ女(こけし女子)」の聖地である。南八甲田連峰青荷溪流のほとりに、歌人丹羽洋岳が隠れ住むために開いた「ランプの宿青荷温泉」があり、秘湯として人気を集めている。津軽三不動の一つ中野神社がある「中野もみじ山」は、享和二(一八〇二)年弘前九代藩主津軽寧親(黒石六代より本家を相続)が京都から百余種の楓苗



温湯温泉共同浴場